

音楽 No.1

このワークシートは学習のあと、
先生にわたしましょう。

5年 組

名 前 _____

めあて 曲のヒミツを見つけて、生き生きと歌おう

- * 「スキーの歌」の音源は、授業での聴取または学校HP等からの限定配信をご利用ください。
学校からの配信は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 SARTRAS へ届け出のうえ、パスワード等を用いた限定配信及びストリーミング配信（ダウンロード不可）で行ってください。
- * 歌唱の扱いは、家庭等校外での活動を視野に作成しています。授業で扱う場合はマスクの着用やソーシャルディスタンス、音量等にご留意ください。

1. 教科書 48 ページの詩を見ながら「スキーの歌」の音げんをききましょう。 むずかしい言葉があったら意味を確かめましょう。

***1番, 2番, 3番の詩を現在の言葉で表現すると、おおよそ次のとおりです。**

- 1番 日の光がまぶしくかがやき、野山も（白く）照りかがやいている
（山の上から）ふもとを目がけて（勢いよく）すべり出せば
足元の粉雪が（勢いよく）まい上がり、さけぶような風の音が聞こえる
- 2番 大空の下を飛ぶように、（広い）大地の上を走っていくように、
あたり一面真っ白で、かげもないような雪げしきの中を
ストックをかざし、自分がかかるようにすべって行く
- 3番 山をこえ、おかをこえてすべり、しゃ面をくだる
急に目の前にあらわれた谷を目がけて
おどるようにすべれば、まるで空を飛ぶ鳥になったような気持ちにする

2. 教科書 49 ページの楽ふを見ながら、「スキーの歌」の音げんをきき、自分でも歌ってみましょう。

★曲全体のせんりつをききながら歌いましょう。最後のだんは上と下とにパートが分かれています。

下のパートが最後に主なせんりつを歌っていることに気をつけて、ていねいに音げんをききましょう。

★主なせんりつを、音げんに合わせて歌いましょう。

★最後のだんの、上のパートにちょう戦しましょう。音を確認して、音げんをききながら歌ってみましょう。けんばん楽器で音を確認するのも一つの方法です。

ふり返って○をつけましょう。○はいくつつけてもよいです。

- () 主なせんりつを最後まで歌うことができた
- () 最後のだんの上のパートを歌うことができた
- () 少しむずかしいところがあった

3. せんりつの特ちょうをとらえて歌いましょう。

★音げんに合わせ、「タッカ」のリズムを意しきして主なせんりつを歌いましょう。

★タッカのリズムで始まるだと、そうでないだんを見つけて、せんりつの中にちがいがあ
るか、比べてみましょう。それぞれのだんについて、選んで○で囲みましょう。

1だんめ… タッカで始まる・始まらない

2だんめ… タッカで始まる・始まらない

3だんめ… タッカで始まる・始まらない

4だんめ… タッカで始まる・始まらない

5だんめ (2はく目から) … タッカで始まる・始まらない

★曲の中で、どのだんのせんりつがにいていますか。にているだんの数字を全て書きましょ
う。

★見つけた「にているせんりつ」の特ちょうについて、タッカのリズムの他にも気づいたこと
を書きましょう。たとえば、音の高さに注目して考えましょ

★見つけた「にているせんりつ」を、それぞれ続く感じがするか、落ち着く感じがするか考
えて、だんの数字を書きましょう。

落ち着く感じ

続く感じ

4. 楽ふを見て、強弱記号に気をつけながら、主なせんりつを歌いましょう。
 また、下の表の、空らんには当てはまるものを書きこんで、読み方や意味をたしかめましょう。

記号	読み方	意味
<i>mf</i>		
	クレシェンド	
	デクレシェンド	
<i>f</i>		
	アクセント	

5. もり上がる場所を見つけて歌いましょう。
 ★曲のなかで、一番もりあがるだんはどこでしょう。
 そう思った理由について、自分なりの考えも教えてください。

段	自分なりの考え
段め	

6. 最後に、強弱記号やリズム、せんりつのくり返しや変化、そして一番もり上がる場所を意しきして歌いましょう。